

あがつま



『わたしたちは見えるものではなく
見えないものに目を注ぎます。
見えるものは過ぎ去りますが、
見えないものは永遠に存続するからです』

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章18節)

♪ 賛美歌を歌おう④ 『しずけき祈りの』

(讃美歌54年版・310番)

私がオルガンを弾き始めた頃、最初に練習をした賛美歌として個人的にも思い入れがある賛美歌です。

作詞者はイギリスの盲人説教者であるウイリアム・ウオルフォード (1816-1868) です。

彼については記録がほとんど残されていませんが、この賛美歌詞を世に出した会衆派教会の牧師トーマス・サーモンによれば、『強い心と記憶力の持ち主で、聖書全体を暗記しているという評判』だったそうです。

ウオルフォードはいくつかの詞を編んでいましたが、盲目であったためか、紙に詞を書き留めていませんでした。

彼の頭の中にしまい込まれ、誰の目にも触れることのなかったこの賛美歌は、サーモン牧師によって書き起こされ、後にアメリカに転任したサーモンが新聞に発表したことで、アメリカの教会で歌われるようになりました。

メロディは、『主われを愛す』(讃美歌461番)の作曲もしているウイリアム・ブラッドベリー (1816-1868) によって、この歌詞のために作曲されました。規則的で朴訥なメロディで、あまり歌い慣れていない方にとっても比較的歌いやすいこの曲は、歌声をあわせて賛美する喜びを感じさせてくれる賛美歌です。



(稲垣)

